

「環境・エネルギー技術研究会」開催

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて研究会を開催致します。
皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成22年12月6日(月) 13:30～17:30

場所：名古屋駅前イノベーションハブ会議室

(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)

定員：35名

参加：協会会員及び公設機関等に属する方

下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

講演会スケジュール：

- 13:30～14:15 「保水セラミックブロックの開発」

杉山 豊彦(産総研 サステナブルマテリアル研究部門)

要旨：ヒートアイランドに有効な保水セラミックスを住宅建材に応用する材料研究と実証試験の取り組みを紹介する。

- 14:15～15:00 「多孔質陶磁器を活用した環境に優しい製品開発」

高畑 宏亮(滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場)

要旨：水の蒸散による冷却効果をもち、表面に多孔質層が形成された陶磁器です。多孔質層はセラミック粒子が焼結により結合され、粟おこし状に連続気孔をもち導水性もかね備えた陶磁器です。

- 15:00～15:15 - 休憩 -

- 15:15～16:15 「断熱材の遮熱性評価手法の開発」

北谷 幸恵(北海道立総合研究機構 建築研究本部)

北方建築総合研究所 環境科学部)

要旨：建築や設備等における高性能断熱材開発と遮熱性評価の必要性、及び、北方建築総合研究所における研究概要について、ご紹介します。

- 16:15～17:15 「ヒートアイランド対策の取り組みについて」

三坂 育正(株式会社竹中工務店 技術研究所)

先端技術研究部 エコエンジニアリング部門)

要旨：近年、都市がその周辺地域に比べ高温となる「ヒートアイランド現象」は、都市の環境・生活に対して多くの問題をもたらしており、国や自治体においてその対策が急務とされています。ここでは、ヒートアイランド現象の現状やその発生要因について説明するとともに、緩和対策として実施されている、「緑・水・風」を用いた技術を中心に、緩和の原理や効果の評価について、適用事例を中心に紹介いたします。

- 17:15～17:30 - 総合討論 -

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局(名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai@m.aist.go.jp

「環境・エネルギー技術研究会」参加申込書 FAX:052-583-6462

氏名(代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所(連絡先)	〒	TEL ()	-

本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」研究会の連絡のみに利用させていただきます。

(会場案内図)

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4番38号

愛知県産業労働センター(ウイंकあいち)15階

(名古屋駅より徒歩2分)

